

資料の分類について

日本十進分類法 (NDC : Nippon Decimal Classification)

NDCでは、すべての資料を「哲学」「歴史」「社会科学」「芸術・スポーツ」などのテーマでわけて、9つのグループに分類します。どのグループにも入らない資料は、0のグループとします。そして、各グループをさらに細かく10グループに分類します。

例えば「芸術・スポーツ」のグループは、2桁目の分類で絵画や音楽、スポーツ・体育といったグループにわけられます。そして、「スポーツ・体育」のグループは、3桁目の分類でさらに細かく陸上競技や球技、武道といったグループにわけられます。このようにして、各グループを大きな分類から細かい分類へ10ずつ細分していくのがNDCの仕組みです。

例

783.59

芸術・スポーツ

スポーツ・体育

球技

庭球 [テニス]

バドミントン

この数字を**分類記号**といいます。
分類記号は基本的に整数3桁で表されますが、小数点以下2桁まで付いている場合もあります。

0 総記	1	哲学
	2	歴史
	3	社会科学
	4	自然科学
	5	技術
	6	産業
	7	芸術
	8	言語
	9	文学

[1桁目の分類]
すべての本を10個のグループに分ける。

70 芸術	71	彫刻
	72	絵画・書道
	73	版画
	74	写真・印刷
	75	工芸
	76	音楽・舞踊
	77	演劇・映画
	78	スポーツ・体育
	79	諸芸・娯楽

[2桁目の分類]
例えば[7]のグループをさらに10個に分ける。

780 スポーツ 体育	781	体操・遊戯
	782	陸上競技
	783	球技
	784	冬季競技
	785	水上競技
	786	戸外レクリエーション
	787	釣魚・遊獵
	788	相撲・拳闘・競馬
	789	武道

[3桁目の分類]
[78]のグループをさらに10個に分ける。